

○滝川工業高等学校を支援する集い（概要）

日 時	平成20年8月17日（日曜日）午後5時～ 学校施設見学（自由参加） 午後5時35分～ 集い
場 所	滝川工業高等学校 記念館
主 催	滝川工業高等学校の活性化を支援する会
後 援	滝川市・滝川市教育委員会
開催趣旨	空知北学区唯一の工業高校であり、将来における地域のものづくりを基盤とした産業人材育成にとって欠かすことのできない滝川工業高等学校の重要性を、より多くの方々にご理解いただくとともに、同校への支援の思いをさらに多くの方々を広げる機会とするため、「滝川工業高等学校を支援する集い」を開催したい。
次 第	（司会：西田良文、滝川工業高等学校PTA会長） - 開 会 - 主 催 者 挨 拶 ・ 副会長 尾 崎 静 夫（滝川工業高等学校同窓会長） - 来 賓 挨 拶 ・ 滝川市長 田 村 弘 様 ・ 北海道議会議員 大 河 昭 彦 様 ・ 滝川工業高等学校校長 青 木 一 明 様 ※その他来賓紹介 ・ 滝川市議会議員 中 田 翼 様 ・ 滝川市教育委員会委員長 若 松 重 義 様 ・ 滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議委員長 土 居 幸 一 様 - 経 過 説 明 （事務局） - 講 演 演題：「私と滝川工業高等学校」 ・ 泉 田 千 一 氏 （元滝川工業高等学校教員、滝川市町内会連合会連絡協議会会長） - 活性化プラン概要説明（事務局） - 質疑・提言等 - 要望趣旨説明 ・ 副会長 尾 崎 静 夫（滝川工業高等学校同窓会長） - 閉 会
参加者	約120名

概 要

当日午後５時から希望者（約５０名）による校舎内の見学が行われた。

３科の実習室で行われた工業高校教員による NC 機械や CAD など先端設備の説明においては、見学された方が最新技術に目を見張っている姿や、改築後（Ｈ９年改築）初めて学校を訪れる OB の方から、自分たちの学んだ校舎との違いに隔世の思いを感じられるとの声が伺えた。

午後５時３５分から「滝川工業高等学校を支援する集い」が記念館１階体育室において開かれた。

集いは、「滝川工業高等学校の活性化を支援する会」の西田良文氏（工業高校 PTA 会長）の司会で進められ、まず、主催者を代表して支援する会の尾崎副会長から挨拶いただき、工業高校に対する支援を訴えた。

来賓挨拶では、田村市長からものづくりの人材育成拠点がなくなる事への危機感があり、市としても可能な限りの工業高校への支援と、北海道教育委員会に土木科の存続を要望する旨の挨拶があった。大河道議からも、地域社会のために学校をなくしてはならない。そのために道教委に働きかける旨の挨拶があった。青木工業高校校長からは、日頃の支援・協力の謝辞と今後も支援をお願いする旨の挨拶があった。

事務局からの経過説明の後、元滝川工業高校教員の泉田千一氏（滝川市町内会連合会連絡協議会会長）から、昭和３９年から平成９年までの３３年間に及ぶ工業高校での教員生活を振り返り、同校奉職時の滝川市の大火の話に始まり、在職時のエピソードも交えながら、土木科の必要性についての講演をいただいた。参加者のなかには尾崎副会長を始め泉田氏の教え子も数多くいて、同氏の話に感慨深そうであった。

活性化プラン概要説明では、事務局から滝川市の国際交流の実績など地域資源を生かした国際的な視野を持ったものづくりの人材育成を目指す「テクノグローバルリスト」育成プランや専攻科など工業高校の活性化プランが提案された。

このあと、会場の参加者から質疑や提言があり、土木科の生徒数の状況や生徒増に向けた取り組みへの質問や、同校存続への思い、高等技術専門学院を始め地域のものづくり人材育成拠点をなくすことは地域の崩壊に繋がる、絶対に工業高校をなくさないでほしい等の意見があった。

最後に、尾崎副会長が要望の趣旨を読み上げ満場の拍手で了承され、会場は熱気のもとに終了した。

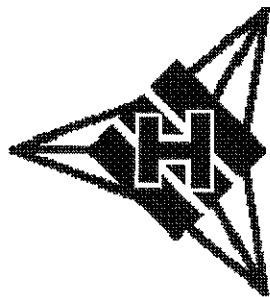
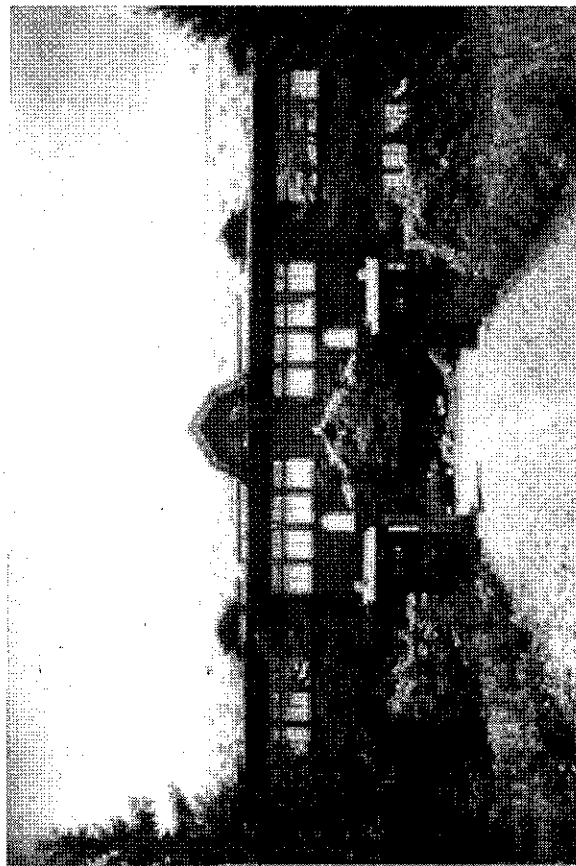
滝川工業高等学校の活性化について ～土木科存続に向けて～

平成20年 8月17日

滝川工業高等学校の活性化を支援する会

1 滝川工業高等学校の歴史

今年で開校
88年
の歴史と伝統



空知支庁管内は本道の中央に位し、人口28万3千余、戸数52,286にして全道の冠たるのみならず、人文の程度大に進み産業また頗る発達し地方税の負担においても他管内に放出せり、然るに同管内には庁立学校として唯だ岩見沢町に空知農業学校あるのみにして、地方子弟教養上遺憾の点多きを以て空知支庁管内適當の地を選定して庁立中学校を設置せられんことを望む。(昭和35年滝川市史39頁より)

一の坂校舎 (S26)

沿革	T 9	北海道庁立滝川中学校開校	庁立中学校としては8番目、郡部としては最初にできた中学校
	S23	北海道立滝川高等学校 (普通科)	学制改革
	S25	北海道滝川西高等学校	学区制設定、男女共学
	S26	工業科 (土木科・電気科) 併置	
	S29	北海道滝川工業高等学校	普通科分離
	S34	工業化学科設置	
	S36	機械科設置	
	H 5	工業化学科閉科	
	H10	機械科、電子機械科に学科転換	

